



学校だより特別号

特集 学校評価（前期）令和4年10月

京都市立醍醐小学校

校長 横山 知史

TEL
571-0001

学校教育目標

「次代と未来を創る 醍醐の子を育てる」～自ら学び、共に支え高め合う子ども～

アンケート【低学年】	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない
がっこうはたのしいですか	82.6%	13.6%	3.8%
よくかんがえて、がくしゅうしていますか。	78.8%	16.7%	4.5%
じゅぎょうはたのしく、わかりやすいですか。	80.3%	15.2%	4.5%
いえて、かていがくしゅうをしていますか。（1ねんせい15分、2年生30分、3年生45分）	70.5%	20.5%	9.1%
がっこうやいえで、じぶんからどくしょをしていますか。	65.9%	23.5%	10.6%
じぶんからすすんであいさつしていますか。	77.3%	19.7%	3.0%
がっこう・がつきゅうのやくそくやルールをまもっていますか。	77.3%	16.7%	6.1%
ともだちとなかよくしていますか。	84.1%	13.6%	2.3%
じぶんからすすんでからだをうごかしていますか。	76.5%	17.4%	6.1%
はやね・はやおき・あさごはんを心がけていますか。	73.5%	16.7%	9.8%
じぶんにはよいところがあり、じぶんをすきだとおもっていますか。	71.2%	18.2%	10.6%
しようらいのゆめやもくひょう（こんなひとになりたいなど）がありますか。	89.4%	6.1%	4.5%
じぶんはちいきのひとたちにたいせつにされているとかんじますか。	81.8%	12.9%	5.3%
じぶんのすんでいる「だいごのまち」のことときをすきだとおもっていますか。	84.8%	12.1%	3.0%

アンケート【高学年】

アンケート【高学年】	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない
学校は楽しいですか。	73.4%	23.1%	3.5%
よく考えて、学習していますか。	65.7%	30.8%	3.5%
授業は楽しく、わかりやすいですか。	67.1%	30.1%	2.8%
家で家庭学習をしていますか。（4年生60分、5・6年生60分～90分）	41.3%	37.1%	21.7%
学校や家で、自分から読書をしていますか。	38.5%	30.8%	30.8%
自分から進んであいさつしていますか。	52.1%	40.1%	7.7%
学校・学級の約束やルールを守っていますか。	74.8%	23.8%	1.4%
友だちとなかよくしていますか。	85.3%	11.9%	2.8%
自分から進んで体を動かしていますか。	53.1%	31.5%	15.4%
早寝・早起き・朝ごはんを心がけていますか。	54.5%	34.3%	11.2%
自分には良いところがあり、自分を好きだと思っていますか。	43.4%	39.9%	16.8%
将来の夢や目標（こんな人になりたいなど）がありますか。	73.4%	17.5%	9.1%
自分は地域の人たちに大切にされていると感じますか。	67.1%	30.1%	2.8%
自分の住んでいる「醍醐のまち」のことを好きだと思っていますか。	81.1%	17.5%	1.4%

本校では、学校教育目標の実現を目指し、学校評価としてアンケートを年に2回行っています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果を生かし、学校運営の改善と発展を目指し、より一層教職員一同励んでいきたいと思います。

アンケート【保護者Ⅰ】

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない
学校に楽しく通っている。	63.3%	33.5%	3.2%
基礎学力が身についている。	37.9%	52.8%	9.3%
授業で考えを深めたり、思いや考えを表現したりしている。	31.5%	55.2%	13.3%
「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	33.1%	41.1%	25.8%
読書に親しんでいる。	21.8%	34.3%	44.0%
家や地域で自分から進んであいさつをしている。	31.0%	48.8%	20.2%
学校・学級でのきまりや約束を守っている。	55.2%	39.5%	5.2%
友だちを思いやり、仲よくしている。	58.1%	40.7%	1.2%
自分から進んで体を動かしたり、スポーツをしたりしている。	50.4%	35.1%	14.5%

アンケート【保護者Ⅱ】

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない
早寝・早起き・朝ごはんを心がけている。	57.3%	38.3%	4.4%
子どものよいところを伸ばしたり、褒めたりしている。	41.9%	53.2%	4.8%
子どもに将来の夢や目標をもたせるよう働きかけている。	35.9%	54.4%	9.7%
子どもと学校のことについて家庭で話をしている。	57.3%	37.5%	5.2%
学校から配られているプリントを必ず見ている。	60.1%	34.7%	5.2%
PTA行事や地域行事に積極的に参加している。	22.6%	40.7%	36.7%
学校には、質問や相談をしやすい雰囲気がある。	35.5%	54.0%	10.5%
学校だよりやホームページで学校の様子が伝わってくる。	34.7%	56.9%	8.5%

「子どものよいところを伸ばしたり、褒めたりしている。」簡単なようで、なかなか難しいことです。子どもは、日々の生活の中でその良さを認めてもらえることで、「自分が好きだ（自分には良いところがある）」という気持ちが育まれます。この項目で、肯定的な回答が95%を超えていることはとてもうれしいことです。

「学校は楽しい」「友達となかよくしている」この2つの項目は、子どもたちにとって特に大切な項目です。自分の居場所があり、安心して過ごせる場所に学校がなっていないと「学校は楽しい」と感じることはできません。今回のアンケートでは「学校は楽しいですか。」という設問に対して、低学年、高学年、保護者の約96%が肯定的な回答でした。一方で否定的な回答の児童・保護者がいることもしっかりと受け止め、教職員一人一人が、児童との対話を大切にするとともに、学級経営の在り方を振り返りたいと思います。また、「友達となかよくしている」については、低学年、高学年、保護者とも97%以上が肯定的な回答でした。友達を大切にするためには、まず自分を大切にできなければなりません。自己肯定感が育つことで自分を大切にでき、自分を大切にできるから、人を大切にできるのです。「自分が好きですか」という質問には8割以上の児童が肯定的な回答をしていますが、低学年に比べると高学年がやや低い傾向が見られます。自分や友達のいいことを認め合える学習を意識的に取り入れ、子どもたちが自己肯定感を高められるよう、取組をすすめています。

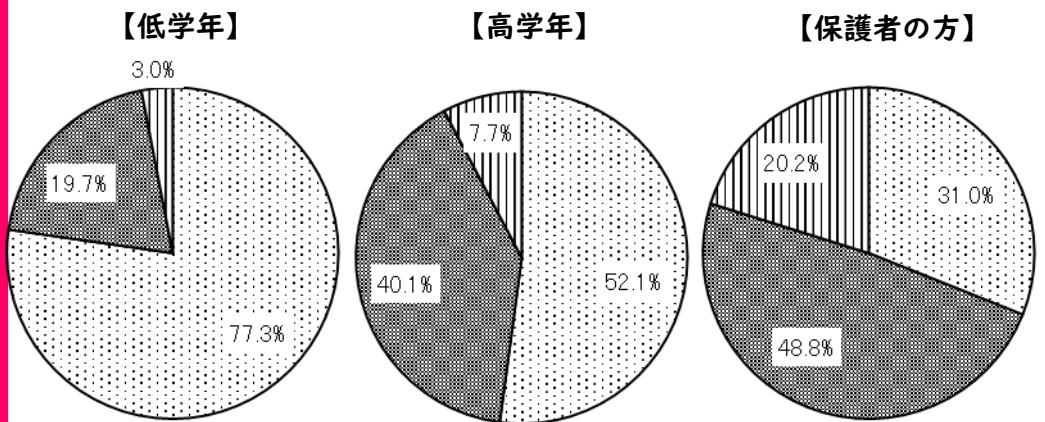
アンケート【地域の方】	そう思う	大体そう思 う	あまりそう 思わない
醍醐の子どもは、自分から進んであいさつをしています。	15.2%	65.2%	19.6%
醍醐の子どもは、学校や社会のきまりやルールを守っている。	34.8%	65.2%	0.0%
醍醐の子どもは、友だちを思いやり、仲よくしている。	34.8%	63.0%	2.2%
学校だよりやホームページで学校の様子が伝わっている。	54.3%	43.5%	2.2%
学校には、質問や相談をしやすい雰囲気がある。	28.3%	67.4%	4.3%

「学校だよりやホームページで学校の様子が伝わっている。」95%以上の方が肯定的に捉えていただいている。今後も、各種行事のご案内だけでなく、学校だよりや学校ホームページを通して、学校の様子や取組の内容を分かりやすく伝える工夫をしていきたいと思います。

アンケート【教職員】	そう思う	大体そう思 う	あまりそう 思わない
子どもは、楽しく学校生活を送っている。	57.1%	42.9%	0.0%
子どもは、基礎学力が身についている。	4.8%	90.5%	4.8%
子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	9.5%	85.7%	4.8%
子どもは、読書の習慣が身についている。	4.8%	76.2%	19.0%
子どもは、自分から進んで挨拶をしている。	19.0%	81.0%	0.0%
子どもは、学校・学級のきまりや約束を守っている。	42.9%	57.1%	0.0%
子どもは、友だちを思いやり、仲よくしている。	38.1%	57.1%	4.8%
子どもは、自分から進んで体を動かしたり、スポーツをしたりしている。	19.0%	76.2%	4.8%
子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを心がけている。	28.6%	71.4%	0.0%
子どもは、地域の人たちに大切にされている。	66.7%	33.3%	0.0%
子どもは、自分の住んでいる「醍醐のまち」を好きだと思っている。	42.9%	57.1%	0.0%

自分からすすんで挨拶ができる子ども

自分から進んであいさつをしていますか。



【地域の方】 【教職員】

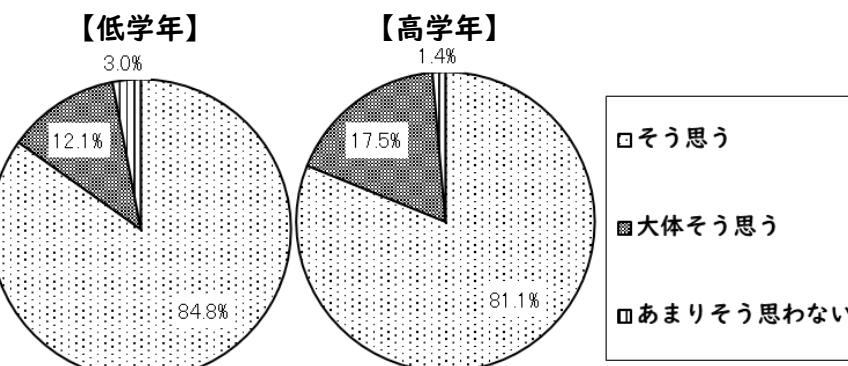
- そう思う
- 大体そう思
う
- あまりそう思
わない



「自分からすすんであいさつをしているか」の設問に対しては、8割以上（子どもたちは9割以上）が肯定的な回答となっています。これは、昨年度と比べると高学年と保護者、教職員で大幅に上がっています。あいさつができる児童が着実に増えていることが分かります。子どもたちは、家族や友達、地域の人、先生など様々な人のつながりを大事にして過ごしてほしいという願いをもって、あいさつの大切さを教職員一丸となって伝え続けています。それに加えて、家庭や地域でも進んで声をかけてくださっていることが、この結果につながっているのだと感じます。

自分の住むまちを好きと言える子ども

「醍醐のまち」が好きですか

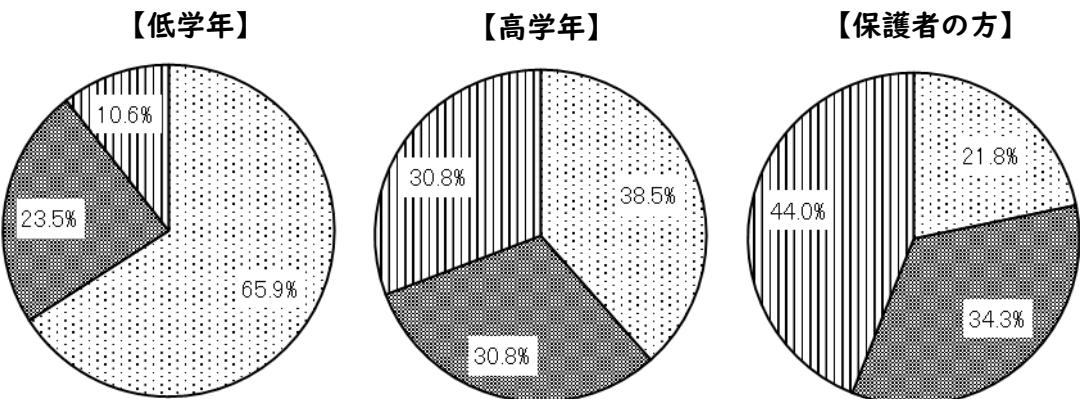


ほとんどの子どもたちが「自分が住む醍醐のまちが好き」と感じていることが分かります。

総合的な学習の時間では、3年生の「発見！醍醐のすてき」をはじめ、4年生の「やさしい町醍醐」そして6年生での「歴史探訪」と醍醐のまちの魅力に触れる学習を行います。その中で自分たちの住むまちについて、新しく知ることができた発見をどんどんまとめ、発信していくならと考えています。

自分から読書をしていますか。

すすんで本を読む子ども



学年が進むにつれて、肯定的な回答の割合がへってきます。本を読むことは「心の栄養」を補給することだと考えます。高学年になっても、本の世界に入って、想像力を働かせたり、現実ではできないことを追体験したりすることは大切です。また、たくさんの情報を得ることができます。

学校では、子どもたち自身が図書室にあるといいなと思う本を決める「選書会」の開催や本館1階の「ほっこり図書コーナー」の充実など、読書の魅力を伝えていく取組をさらに進めていきたいと考えています。

